



学校だより 穂波平

令和4年度 第11号
富士宮市立富士宮第四中学校
静岡県富士宮市穂波町13-1
TEL26-2944/FAX22-1498

校訓
考える

学校教育目標 「主体的に行動する生徒」

●伝え合い学び合う授業 ●認め合い高め合う仲間 ●磨き合い鍛え合う心と体

いよいよ令和4年度も残りわずかとなってきました。

3月17日の修了式と卒業証書授与式では、それぞれの学年で学習すべき課程を終えたことを証明する「修了証」を1、2年生に、「卒業証書」を3年生に授与します。これまでにみなさんを支えてくださった方々へ感謝の気持ちを表してほしいと思います。

「感謝の心をもとう」

校長 菊地 範士

私達の周りで、私達を支えてくださる人達にはどんな方々がいらっしゃるでしょうか。親・保護者であり、兄弟や家族であり、親戚、地域の人、友達、先生方…、本当に大勢の方々が浮かんできます。まず、そういう人達に感謝の気持ちをもつことが一番重要なことです。

感謝する対象は、「人」であり「物」であり「事」です。いつも「人・物・事」への感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

「感謝」という字の「感」は「感じる、心が深く(強く)動く」という意味です。そして「謝」という字は「言」と「射る」が組み合わさっていることから、「言葉を射る」=「言葉を発する」ことで、相手に自分の意思を言葉で伝えるという意味をもっています。「感謝」とは「相手に対して心が強く動き、そのありがたいという気持ちを言葉にして伝えること」という意味になります。「感謝」は、人や物・事に対して「ありがたい」と感じた気持ちを言葉や態度で表すことです。

その、「ありがたい」は「ありがとう」の語源で、漢字で書くと「有り難い」となり、「有り難い」は「有ること」が「難しい」ということから、「めったにない」「めずらしくて貴重である」という意味があります。そうすると、「ありがとう」の反対の意味は「当たり前」になります。当たり前に思っていると感謝の気持ちを表す「ありがとう」という言葉が出てきません。みなさんには、いつも感謝の気持ちを忘れずに「有り難い」と思って、学校生活や家庭生活、地域での生活を送ってほしいと思います。そして、1、2年生は四中生としてさらに成長し、3年生は新しい世界で自分らしく大きく成長してください。

ネット・スマホ依存症講演会 令和5年2月21日(火)

富士宮ライオンズクラブ青少年健全育成事業として、「ネット・スマホ依存症講演会」を開催しました。臨床心理士の松井一裕様を講師に、インターネットやゲーム依存についてや、その対処方法などをお話していただきました。

生徒から「依存していると感じた場合、どうしたらいいか」という質問に対して、「①毎日記録を付ける」「②周りの人と、自分の時間を見直す」「③部活や勉強、その他の時間がこれまでより減っていないか探してみる」などの対処法をお話していただきました。



第24回富士山学習PARTⅡ発表会 令和5年1月28日(土)



例年富士宮市民文化会館で開催されてきた、富士山学習PARTⅡ発表会が、市内の6会場に分散され1月28日に開催されました。富士宮第四中学校では、黒田小、西小、貴船小、富丘小、富士宮三中、富士宮四中の児童生徒が集まり、それぞれの学校で追究してきた課題についてのステージ発表と展示発表を行いました。富士宮四中は、

2年生の代表生徒が「富士宮の未来を拓く～故郷のために私たちができること～」をテーマに、SDGsの視点でそれぞれが考え、さらに良いまちにするための提案をプレゼンテーション発表しました。新東名のSA開設やご当地ソングの提案など、興味深いアイデアを盛り込んだ発表は、他校の生徒や保護者の方から大変好評でした。

穂波平学習(総合的な学習の時間)では、課題を発見する力や探究力、プレゼンテーション力など、生きて働く力を身に付けることができます。さらにこれらの力は、教科学習においても必要な力となります。来年度はプレゼンテーション発表を行うことが決まっています。四中学区がさらに良くなるためのアイデアを提案できるよう、追究を進めていきましょう。



特別支援学級学習発表会 令和5年2月15日(水)



特別支援学級の学習発表会が市民文化会館小ホールにて開催されました。ステージでは、合奏「栄光の架橋」、劇「おくりもの」「セトモノ」を発表しました。

合奏は、全員の心が一つとなり、素晴らしい演奏ができました。また劇では、自分の心と向き合い、壁を乗り越えていく姿を一生懸命演じました。



発表会を通して、一人一人が自分を見つめ、より良い自分、人間関係を築いていきたいと考えることができました。

これから入学する小学生に向けて 令和5年2月2日(金)

来年度入学する富丘小学校、貴船小学校の6年生に向け、1年生の代表生徒がリモートで小学校と中学校をつなぎ、中学校紹介を行いました。

小学校では主に担任の先生が行っていた授業が、中学校ではそれぞれの教科で担当が変わる教科担任制になることや、自分の学力向上のために、小学校よりさらに真剣に授業に取り組んでいること、部活動があり、中体連やコンクール等に向け、毎日の練習を頑張っていることなどを紹介しました。

